

遠くで近い北極

—ここまでわかった温暖化—

地球温暖化で急変する北極。

その気候システムの解明を目

指して、日本の研究者が活躍

していることをご存じですか。

本講演では、北極の温暖化に

ついてわかってきた最新の研

究成果をお届けします。

GRENE-Arctic

公開講演会



写真提供：島田浩二（東京海洋大学）

参加無料

日時 2014年3月15日(土) 14:00～17:00 開場 13:30

場所 自由学園 みょうにちかん 明日館講堂

主催 北極環境研究コンソーシアム
情報・システム研究機構 国立極地研究所

「遠くて近い北極」 公開講演会について

2013年9月に公開されたIPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次評価報告書で地球温暖化に関する重要な報告がありました。観測において近年、グリーンランド氷床の縮小、北極海の海水面積や北半球の春季の積雪面積の減少などが報告され、北極では温暖化が急速に進んでいることが改めて確認されています。

北極の急激な温暖化は局所にとどまらず地球全体にも影響を与えることがわかってきました。中緯度に位置する日本でも豪雨・豪雪や猛暑・寒波などの異常気象が増加していますが、これらも北極の温暖化と関係しているのでしょうか。

北極では何が起きているのか、そしてそのことは地球全体や日本付近にどのような影響を及ぼしているのか。本講演会の第一部では、GRENE北極気候変動研究事業で活躍している日本の研究者が、急変している北極の様子や急激な温暖化の現状についてこれまでの研究でわかってきていること、そして今後どうなっていくのかを語ります。

第二部では、会場の皆さまからのご質問を交えながらパネルディスカッションを展開します。

本講演会を通して北極研究への理解がより一層進む機会となることを期待しています。

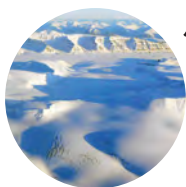
プログラム

13:30 開場 司会 室山哲也氏

(NHK 解説委員)

14:00 開演

〈第一部〉 講演



序章 北極温暖化を取り巻く状況

榎本浩之(国立極地研究所 教授)

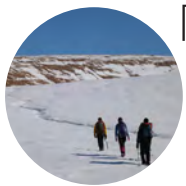
北極域の急速な温暖化はどうなっているのか、その影響の解明に取り組む日本の研究者たちについてご紹介しながら、講演の聴きどころに触れていきます。



海 冷たい海の変化と生態系

三谷曜子(北海道大学 准教授)

北極海の海水の減少は海洋環境にも変化をもたらします。北の海に棲むクジラなどの海棲哺乳類や海の底に暮らす生き物たちと環境についてお伝えします。



陸 グリーンランドで氷河・氷床に起きていること

杉山 慎(北海道大学 講師)

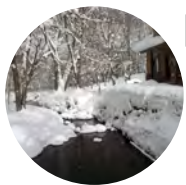
グリーンランドの氷河・氷床の変化は、地球の海水面の上昇に大きな影響を与えています。北半球最大の氷に起きている急激な変化について、現地観測からわかってきたことをご紹介します。



空 温室効果気体の振る舞い

森本真司(東北大学 教授)

温室効果気体の増加は気温上昇の大きな要因となっています。人間活動がもたらすもの、自然界の変化について南極での観測も含め、全球規模で実態を解説します。



日本の気象と北極の温暖化との関係

浮田甚郎(新潟大学 教授)

日本の気象と北極の温暖化との関係が密接だということがわかってきました。遙か彼方のような北極で何が起きているのでしょうか。

〈第二部〉 パネルディスカッション

室山哲也氏の司会進行のもと、第一部の講演者にご登壇頂き、会場からのご質問を交え討論を行います。

※プログラムは都合により変更する場合がありますのでご了承ください。

●お申込み、詳細はホームページで

<http://www.nipr.ac.jp/>

●お問い合わせ先

国立極地研究所 北極観測センター

担当 企画チーム

TEL:042-512-0922

自由学園 明日館

東京都豊島区西池袋 2-31-3

JR池袋駅メトロポリタン口：徒歩5～6分

JR 目白駅：徒歩7～8分

※駐車場はありません。

